

2017年 3月23日

みらい 未来への扉 とびら



高等特別支援学校 支援部 第93号



平成28年度を振り返って

1学期は“学習目標の変更”をテーマにしました。中学校まで“学校＝お勉強”と思いがちですが、でもちょっと考えてみてください。保護者ご自身が、お子様と一緒に働く同僚として考えたら、“勉強だけができる人”で良いですか？……離職の主な原因が“人間関係”であるのはどこでも同じです。本校の生徒は働くための基礎学力は付いています。本校での3年間はソーシャルスキルやライフスキルを中心にした、社会の中で生きていく実践的な力を基礎学力の土台の上に作っていきましょう。

2・3学期は“仲間の中で伸びていく力”をテーマにしました。生徒達はみんな本校での3年間を終えてそれぞれの道を歩み始めますが、ひとつ共通していることがあります。それは“集団の中で生きていく”ということです。もちろんコミュニケーションが得意な生徒もいれば、苦手な生徒もいます。その人なりの仲間を大切に思う“言動”ができれば、仲間大切にされていきます。まずは仲間意識を育てる3年間を密にしていきたいものですね。

生徒1人ひとりが「こんな同僚だったら嬉しい。」と思われる人に育つこと。「いっしょにいて安らぐ。」と家族や友人に思わせる言動が取れること。もちろん完璧な人はいませんが、それが“幸せ”につながっていきます。

今年度の「未来への扉」の感想や、来年度の「未来への扉」にリクエストがございましたら支援部までお知らせ下さい。一年間ありがとうございました。

I. Y

1年間支援部で勉強をさせていただきました。自分のことでいっぱい、いっぱいな1年でした。今年入学した生徒たちは1年間で学校の流れにも慣れ、たくましくなりました。体育では授業の始めに補強運動を1年間を通して行っています。1学期当初は腕立て伏せで体を支えることが大変そうだった生徒もいました。毎回繰り返し取り組み、腕を曲げて体重を支えられるようになってきたかな？と成長しました。もちろん力強く運動ができるように成長した生徒もいます。一緒に体を動かして、心も体も成長する姿を応援していきたいと思います。ありがとうございました。

1学年支援部 N. D

お世話になりありがとうございました。10代半ばで親元を離れ寄宿舎での共同生活を経験したり、寒い日も暑い日も朝早くから起きて電車やバスに長時間揺られ、始業時刻に間に合うように足早に校門を通り過ぎていく生徒たちを見ると、それだけでそれぞれの生徒の努力が感じられて、どの生徒も応援したい気持ちでいっぱいになりました。それぞれの事情を抱えながらも今できることに向けて努力する姿からも元気をもらっていました。保護者の皆さまのご協力もありがとうございました。これからも生徒の幸せを応援し続けたいと思います。

2学年支援部 Y. H

3月2日、21期生が卒業しました。あっという間の3年間でした。卒業後は、地元での就労や就労に向けての訓練が始まります。地元で就労・生活していく中で、何か支援が必要になった場合に備えて、在学中に関係機関とも繋がれるようにしています。何か困った時に相談できる所があることは心強いです。いろいろな人との繋がりを大切にしながら、逞しく歩いていってほしいと願っています。1、2年生の皆さんも仲間と共に過ごす時間を大切に、新学年で更に成長していく姿を見られることを楽しみにしています。一年間ありがとうございました。

3学年支援部 Y. S

未来への扉の『うちの先生♪』をご覧いただけましたでしょうか。“うちの先生”の知らなかった一面を紹介出来ていたら嬉しいと思っています。私はレポートのたびに貴重で魅力的なお話を聞かせてもらえるのでラッキーだと思っています。この機会を通してその先生の物の見方や考え方などに触れることが出来、そのたびに元気をいただけた気がしています。そして少し心もお近づきになれた気がしています。人と話をするってステキですね☆

1年間ありがとうございました。『うちの先生♪』のレポーターYことY. N

今年も1年間の締めくくりの時期になりました。皆さんの手元に「通知票」が渡されたことと思います。3学期はABC評価だけでなく1年間の取り組みの様子が文章で表記されます。「常に意欲的に学習に取り組み、期限内に課題を提出する事ができた。」「班のメンバーと協力して作業ができた。」などと記入できるときは教師である私たちも嬉しいのですが、「課題提出が遅れがちで残念であった。」「力はあるのに発揮できなかった。」などと記入せざるを得ない通知票もあり、ほろ苦い思いをかみしめています。この苦さを糧に来年度も精一杯の支援を続けていきたいと思っています。

K. A